

# データの分析と知識発見

Introduction to Data Analysis

## 今回の構成

0101010101010101010101010101010101

距離の公理について理解する

古典的多次元尺度法について学ぶ

$R$ を用いて古典的多次元尺度法を行う























# 古典的多次元尺度法

## ヤングハウスホルダー変換

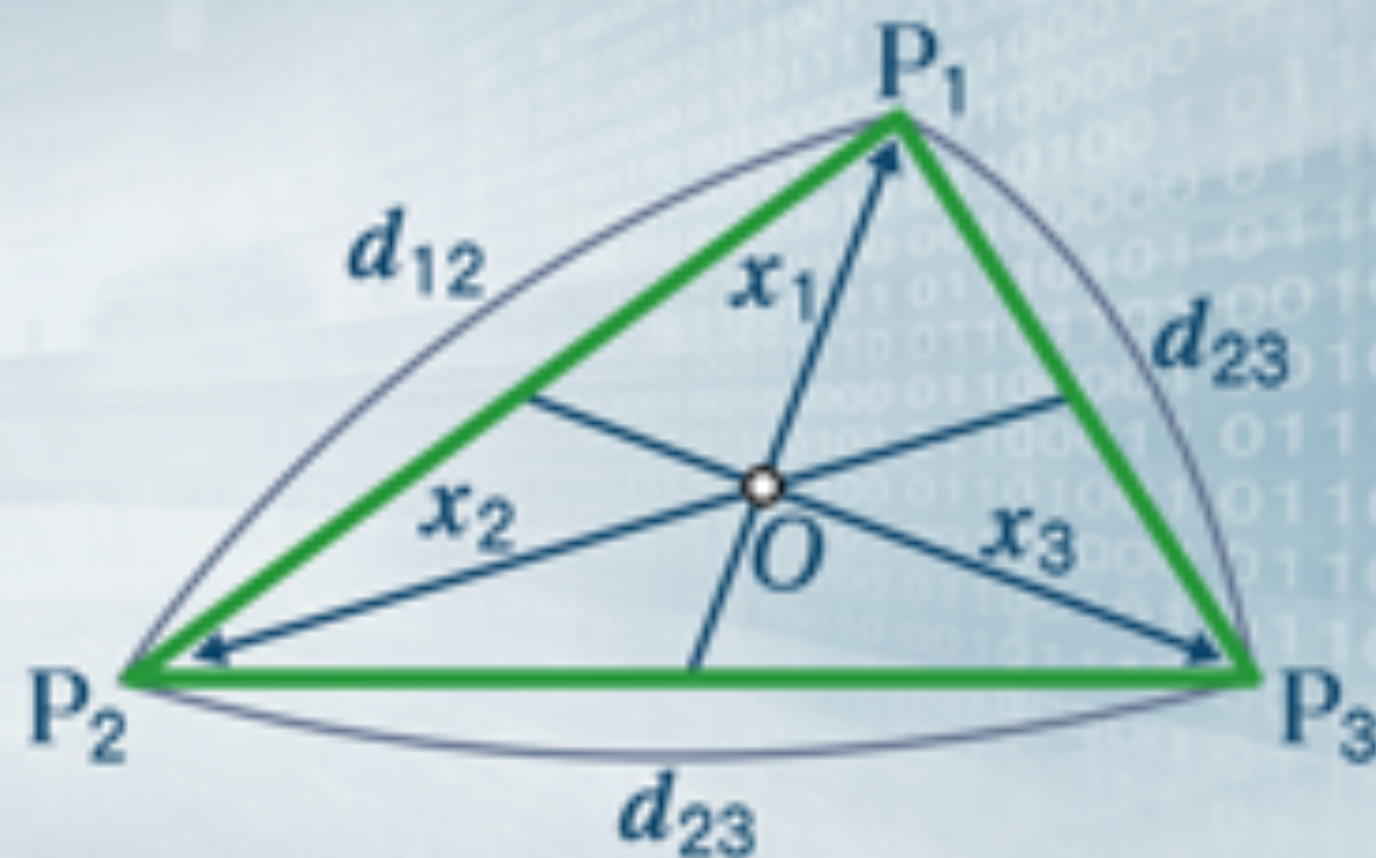
$$D^{(2)} = \text{diag}(XX^T) \cdot (1 \cdot 1^T) - 2XX^T + (1 \cdot 1^T) \cdot \text{diag}(XX^T)$$

という行列に対して

$$Q = I - \frac{1 \cdot 1^T}{N}$$

$$1 \cdot 1^T = \begin{pmatrix} 1 & \cdots & 1 \\ & \ddots & \\ 1 & \cdots & 1 \end{pmatrix}$$

$$-\frac{1}{2}(QD^{(2)}Q) = QXX^TQ$$



平行移動した成分の内積を  
求めることができた



